

梅まつり

「梅の里おおやま」では、毎年2月中旬から3月中旬にかけて、町内約1万本の梅の花が見頃を迎え、山全体が白や淡いピンク色に染まります。期間中は生産者の協力のもと、梅園の開放や、大山ダム堤体の大山ダムライトアップナイトなどを行います。ひと足早い春の訪れを満喫しませんか。

期間

2月19日(日)
～ 3月19日(日)

【おおくぼ台梅園メインイベント】

- とき 3月5日(日) 午前10時～
- 内容 梅娘認証式、豊作祈願祭、式典、アトラクション、野点^{のだて}など

※この日のみ、大山振興局前から無料シャトルバスの運行を予定しています。会場は、交通規制等によって大変混雑しますので、無料シャトルバスを是非ご利用ください。



会場

おおくぼ台梅園
ふるや台梅園

※気象状況によって、開花時期が前後する場合があります。
※新型コロナウイルス感染症等の状況によって、イベント等を中止又は内容を変更する場合があります。市ホームページ（右記二次元コード）をご確認ください。



問 大山まつり実行委員会事務局 ☎ 3101 (大山振興局内)

市長コラム

坂の上の雲を探して

89

令和5年、いまだ終息の兆しを見せない「新型コロナウイルス感染症」。深刻化する「ロシアにおけるウクライナ侵攻」。これらは、私たちの世代では、経験したことのない社会状況です。世界的な、安全保障・エネルギー問題・サプライチェーン等の大きな課題が顕著になる中、新たな時代の幕開けを迫られているように感じます。

その新たな動きを模索するとき、過去の経験や歴史に学ぶことが多く、特に過去の成功体験が、次のステップに希望や展望を描く訳ですが、これほど大きな社会変容が進む中ではなかなか確信を持つことが難しく、臆病になりがちです。

そこで、以前より意識している言葉があります。それは、「洞察力」です。「洞察力」という言葉を文献等で調べると、「物事の本質を見抜く力」と書かれています。また、「洞察力」と似た言葉に「観察力」があります。観察は、あくまで「表面的な部分を注意深く見る行為」と書かれています。とは言え、まずは「物事を注意深く観察すること」から始めることが大切です。そして、表面的な部分を含め、さらにそこから「見えていない部分」までを見抜いていく力が「洞察力」です。ある種「思考の深さ」と言われています。

生活の中で起こる様々な問題やニュースなどを漠然と眺めるのではなく、「なぜこのようなことが起こっているのだろう」と考えることが、とても重要になってきます。自身の知識だけでは見当がつかないことは「調べ」のです。「なぜだろう」と疑問を持ち、自分の頭で考えることが大切です。

変化が激しく、先行き不透明なこの時代に、見えぬものを感じ取り、本質を見抜く「洞察力」は、私たちにとってますます重要なスキルになってくると思います。すぐに習得できる力ではないのですが、日々の積み重ねの中で、磨き上げていきたい力です。



広報ひたは、資源保護のため植物油インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。